

令和元年6月16日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K02812

研究課題名(和文) グローバルネットワークによる母語・バイリンガル教授法開発に関する研究

研究課題名(英文) Study on the Development for Bilingual Teaching Method by Global Network

研究代表者

落合 知子(OCHIAI, TOMOKO)

神戸大学・国際人間科学部・准教授

研究者番号：50624938

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は複数言語環境下にある外国人児童を対象に、グローバルな母語学習ネットワークを構築し、母語と学習言語(日本語)の習得を目指したバイリンガル教授法を開発を目的とした。具体的には1)母語・バイリンガル学習のためのグローバルネットワークの構築とその維持・促進要因の分析 2)母語・バイリンガル学習の動機付けと、学習者の多様性に対応した母語・バイリンガル教授法の開発

母語学習のためのグローバルネットワーク構築を目指し、日本・韓国・ベトナムで母語・継承語としてのベトナム語・韓国語(在日本)、日本語(在韩国・ベトナム)を学習するグループの交流研究・活動を行った

研究成果の学術的意義や社会的意義

ベトナムの日本語学習2団体、韓国の日本語学習2団体と日本における継承韓国語、継承ベトナム語学習団体(各1団体)の交流事業を支援した。この活動支援と並行し、2016-2018年の3年間は兵庫県国際交流協会の母語支援研修会の計画立案に携わり、神戸市教育委員会の教員研修なども行った。さらに名古屋外国語大学の吉富氏とともに、保護者向け母語教育マニュアル『はじめよう母語学習』を作成し英語、韓国語、中国語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語に翻訳した。これらの活動から多様な外国ルーツの子どもを支援する人々とのネットワークを形成・情報発信することに成功した。

研究成果の概要(英文)： This study aimed to develop a bilingual teaching method acquiring mother tongue and learning language by constructing a global Mother tongue learning network for children under plurilingual environment. Specifically, we conducted following activities; 1) Construction of a global network for mother tongue learning and analysis of its maintenance and promotion factors. 2) Development of mother tongue and learning language teaching methods

We conducted exchange research and activities for groups learning Vietnamese, Korean (in Japan) and Japanese (in Korea, Vietnam) as mother tongues and heritage language in Japan, Korea and Vietnam.

研究分野：異文化間教育学 教育人類学

キーワード：母語学習 教育環境デザイン 複数言語環境 ICT 言語習得動機 異文化間教育 バイリンガル教授法

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究は、日本、ベトナム、韓国で暮らす母語学習者の外国人児童の参加のもと、母語と学習言語(日本語)のバイリンガルビデオレターを iPad で作成し、共通する母語もしくは学習言語を持つ海外の子どもたちと、交流する。母語と学習言語の両言語能力によって多様な地域の人々につながれるという実体験は子どもたちに母語学習動機を与えるのではないかと考えた。この 2 言語による自己表現はアイデンティティ・テキスト (Cummins & Early, 2011) のアイディアに基づいている。アイデンティティ・テキストとは母語と学習言語の 2 言語で自己を表現することを通じて、2 言語の相補関係を活用して言語形成を図り、学習者のルーツにつながるアイデンティティに肯定的な光を当て、周囲に可視化することにより、学習者を取り巻く教室の力関係を変動させるといった学習法である。この学習方法がいかに学習者の学習動機を高め、学習者の多様性に対応しながら学習効果を高めることができるのか分析することをめざした。母語と学習言語の異なる外国人児童の学習言語の形成のために、母語学習が有効であることはカミンズの相互依存仮説をはじめ、多くの報告があり、母語の重要性の認識は国内外で深まりつつある。日本でも日本に暮らす外国人児童の学習思考言語レベルの日本語の育成のための母語保持や母語活用の重要性が指摘されて久しい(岡崎 2005 など)。

本研究の研究代表者と分担者は平成 19 年度より母語学習支援に関わる研究に携わる傍ら、Web ページを構築し、外国人家庭や外国人児童を受け入れている教育現場に向けて情報発信活動を行い(注)、母語学習の重要性を神戸市・兵庫県に政策提言してきた。しかし実際の母語教育の現場を歩くことで「母語学習者の動機付けの難しさ」「母語学習者の多様性」の 2 点が母語教育を実践する上での課題の重要な部分として存在していることが分かってきた。特に学習者が小学校高学年、中学生となり、本人の生活の多忙化や親の意思が反映されにくくなるにつれ、母語学習から足が遠のく傾向がある。どうしたら、母語を維持し、学習思考言語を形成することができるのか、現場はその課題を解決でき、そしてだれでもアクセスできる教授法を求めている。

2. 研究の目的

本研究では母語を活用したグローバルなバイリンガル学習ネットワークを構築することで、高学年以降の外国人児童の多様な母語能力に対応しつつ、母語学習動機を獲得する教授法を開発し、その学習効果を分析することを目指した。

3. 研究の方法

本研究は複数言語環境下にある外国人児童を対象に、グローバルな母語学習ネットワークを構築し、母語と学習言語(日本語)の習得を目指したバイリンガル教授法を開発を行った。

具体的には

1)母語・バイリンガル学習のためのグローバルネットワークの構築とその維持・促進要因の分析

2)母語・バイリンガル学習の動機付けと、学習者の多様性に対応した母語・バイリンガル教授法の開発

母語学習のためのグローバルネットワーク構築を目指し、日本・韓国・ベトナムで母語・継承語としてのベトナム語・韓国語(在日本)、日本語(在韓国・ベトナム)を学習するグループの交流研究・活動を行った。

4. 研究成果

ベトナムの日本語学習 2 団体、韓国の日本語学習 2 団体と日本における継承韓国語、継承ベトナム語学習団体(各 1 団体)の交流事業を支援した。ベトナムの 2 団体とはビデオレターの交換を日常的に行い、さらにもう一団体とは今度は絵手紙での交流を行っている。

こうした交流活動を行う中で、参加メンバーや指導者の移動などで団体の活動の活性期と停滞期が必然的に生じることが分かってきた。そのため日本人大学生のベトナム語専攻の学生を交流の輪に入れるなど、活動団体の停滞期を迎えても安定的な交流を行えるように工夫をした。

この交流活動支援と並行し、2016-2018 年の 3 年間は兵庫県国際交流協会の母語支援研修会の計画立案に携わり、神戸市教育委員会の教員研修なども行った。さらに名古屋外国語大学の吉富氏とともに、保護者向け母語教育マニュアル『はじめよう母語学習』を作成し英語、韓国語、中国語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語に翻訳した。これらの活動から多様な外国ルーツの子どもを支援する人々とのネットワークを形成・情報発信することに成功した。

このネットワークを活用し、どのような支援が加算的バイリンガルを育てるのに有効か検証する研究活動チームを立ち上げ、これまでの研究、支援活動と並行させつつ、新たな研究と支援活動の検証を行っていくこととなった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 1 件)

落合知子 2017 「多文化主義社会・カナダから学ぶこと」
『メーレック(多民族共生人権教育センター)・ブックレット Vol.7』PP.10 - 25

〔学会発表〕(計 13 件)

落合知子 2016.11 「神戸市における母語教室のとりくみ」神戸市教育委員会人権研修会(招待講演)

久保田真弓 2017.3 「バイリンガル環境における成長と言語形成について-当事者たちが振り返る家庭・学校などでの教育体験」『兵庫県母語教育支援研修会 「2つ以上の言語環境で生きる子どもたちの未来のために」(招待講演)』(公財)兵庫県国際交流協会

落合知子 2017.3 「保護者向け母語教育マニュアル『はじめよう!母語学習』の紹介と解説」『兵庫県母語教育支援研修会 「2つ以上の言語環境で生きる子どもたちの未来のために」(招待講演)』(公財)兵庫県国際交流協会

Tomoko Ochiai 2017.9 'The transmission of language in the linguistic education of Vietnamese residents in Japan.' "Japan-Asia-Europe Comparative Symposium on Migration, Multiculturalization and Welfare in Naples 2017" L'Orientale" University of Naples

落合知子 2017.11 「学習思考言語としての日本語能力形成を促す母語支援」『神戸市教育委員会平成 29 年度 第 2 回日本語教育支援センター校連絡会(招待講演)』

久保田真弓 2017.12 「コミュニケーションを重視した母語教育 ICT の活用に着目して」『平成 29 年度第 2 回関西母語支援研究会』

松田陽子 2018.3 『母語教育は家庭だけの問題か-学校、行政、NPO との連携を考える』兵庫県母語教育支援研修会(招待講演)(公財)兵庫県国際交流協会

Mayumi Kubota 2018.8 'What is "Communication" ? Beyond Shannon & Weaver 's Model ' "16th International Conference for Media in Education 2018 (ICoME) 韓国 忠北大学校 Chungbuk National University (国際学会)"

松田陽子 2018.8 「バイリンガル大学生(中国・韓国・ベトナム人)の母語維持のプロセス-6人の事例から」『関西母語支援研究会(招待講演)』

久保田真弓 今西香菜子 2018.10 「会話の動画作成から学ぶコミュニケーションの妙」第 17 回多文化関係学会

落合知子 2018.11 「日本で学ぶ外国人児童・生徒の課題~日本語形成のための母語・アイデンティティ支援を中心に~」『神戸市立中学校人権教育全市研究集会(招待講演)』

久保田真弓 2018.11 「エンパワーメントを促すメディア活用フィリピンの事例から」『日本教育メディア学会』

久保田真弓 2018.11 「堀尾美央「Skype を活用したグローバル教育の可能性」への指導助言「国際交流学習の方向性」『第 68 回全国英語教育研究大会』

〔図書〕(計 2 件)

松田陽子・野津隆志・落合知子 2016 『多文化児童の未来を拓く-国内外の母語教育支援の現場から』学術研究出版

落合知子・松田陽子 2016 『はじめよう!母語学習-子どもたちの言葉で悩んでいる外国人保護者の皆さまへ』ワールドキッズコミュニティ(2016 年に英語版、韓国語版、スペイン語版、2017 年にベトナム語版、中国語版、ポルトガル語版を発行)

〔その他〕

ホームページ等

多文化な子どもたちの学び <https://education-motherlanguage.weebly.com/>

6. 研究組織

(1) 研究分担者

研究分担者氏名：松田陽子

ローマ字氏名：Prof. MATSUDA YOUKO

所属研究機関名：兵庫県立大学

部局名：経済学部

職名：名誉教授

研究者番号（8桁）：80239045

研究分担者氏名：久保田真弓

ローマ字氏名：Prof. KUBOTA MAYUMI

所属研究機関名：関西大学

部局名：総合情報学部

職名：教授

研究者番号（8桁）：20268329

(2) 研究協力者

研究協力者氏名：金信鏞

ローマ字氏名：KIM SINYONN

研究協力者

研究協力者氏名：近藤美佳

ローマ字氏名：KONDO MIKA

研究協力者

研究協力者氏名：吉富志津代

ローマ字氏名：YOSITOMI SIDUYO

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。